

LEDZARD EYEBLOW 取付け・取扱い説明書

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
 本書はリ・ガード アイブロウの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。
 取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。
 本説明書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。
 車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備要領書等をご確認の上
 車両に適した手順で作業を行って下さい。

安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読み下さい。

警告	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
注意	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

《車種名》 トヨタ クラウンエステート
 《年式》 2025/3 ~
 《型式》 AZSH38W、AZSH39W 型
 《グレード》 全グレード対応

推奨準備工具



取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(-)側コードを外して下さい。また(-)側コードは(+)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付け説明書通りになっているか、また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておく、後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

1. 車両のイグニッションスイッチに連動して点灯/消灯します。
 (注)本体を強く押ししたり曲げたりしないで下さい。故障の原因になります。
 (注)高圧洗車を行う場合は、噴射口を本体にあまり近づけないで下さい。

詳しい
取付け方法は
こちらから

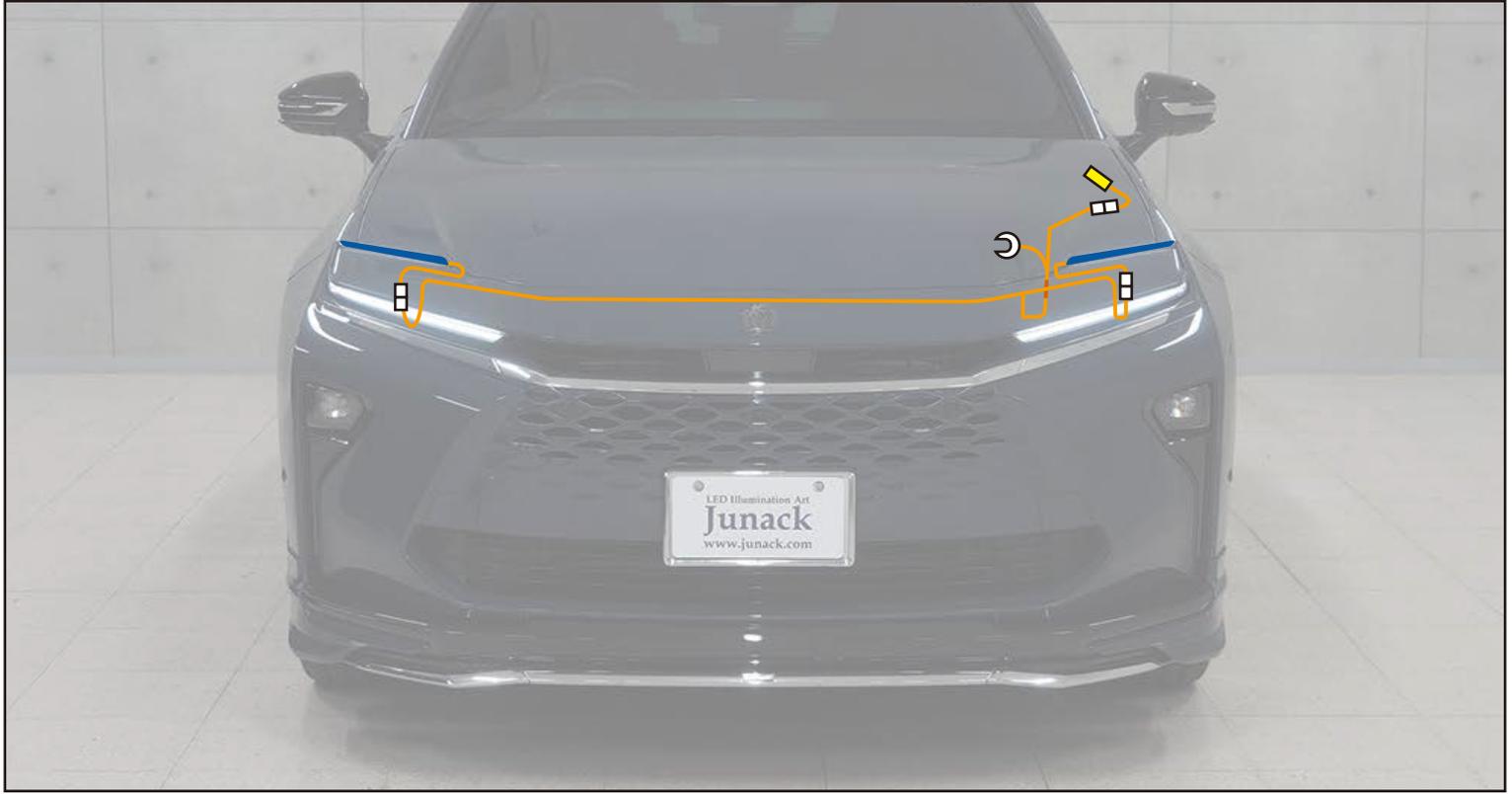


取付け動画は
こちらから



本製品は
ドレスアップを目的に
製作された
LED製品です

完成図全体像



構成部品

※部品が全てあるか確認して下さい。



1.	灯体本体 (右)	1
2.	灯体本体 (左)	1
3.	電源ハーネス (2A ヒューズ付き)	1
4.	中間ハーネス	1
5.	ブチルテープ	1
6.	結束バンド	10
7.	スペーサー	左 1 右 1
8.	エプトシーラー	3
9.	PAC クリーナー	1
10.	製品保証書	1

目次

1. 車両部品の取外しと事前準備	4P
2. 車両部品およびハーネスの加工	6P
3. 灯体本体の取付け	7P
4. ハーネス配策①	9P
5. ハーネス配策②	12P
6. ハーネス配策③	14P
7. 点灯確認～車両復元	15P

車両部品の取外しと事前準備

①-1 車両部品の取外し

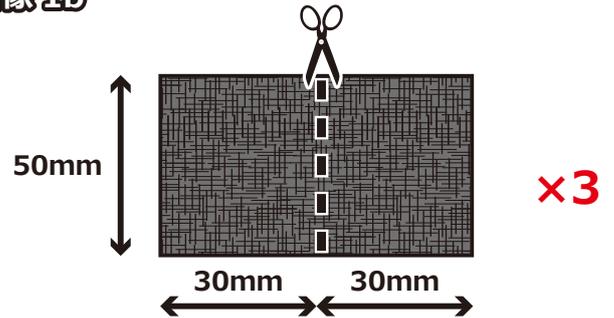
ヒューズボックスカバーを取外して下さい。



①-2 エプトシーラーをカットする

付属のエプトシーラー 3 枚を、画像 1b を参照しハサミ等で 1/2 にカットして下さい。

画像 1b エプトシーラー 3 枚を 2 等分する

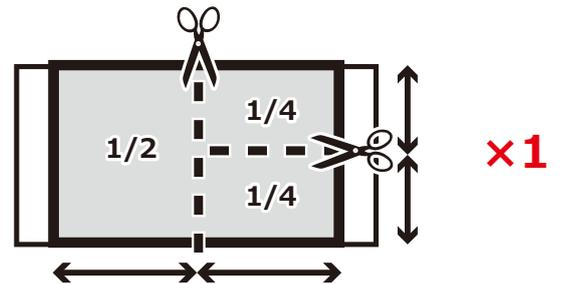


①-3 ブチルテープをカットする

付属のブチルテープを、画像 1c のようにハサミなどで 1/2 と 1/4 にカットして下さい。

画像 1c

ブチルテープをカット



車両部品およびハーネスの加工

②-1 ヒューズボックスカバー穴あけ

ヒューズボックスカバーの車両内側側面に
画像 2a のようにマスキングテープを貼付け、
穴あけ位置をマーキングします。

マーキングした位置にドリルでΦ6 の穴をあけて下さい。
穴あけ後は、必ずヤスリなどでバリ取りを行って下さい。

👉 アドバイス

ドリルで穴あけする際は、Φ3→Φ6 のように
徐々に穴を大きくすると、きれいに穴をあけられます。

注記

バリ取りは必ず行って下さい。
ハーネスが断線などの恐れがあります。

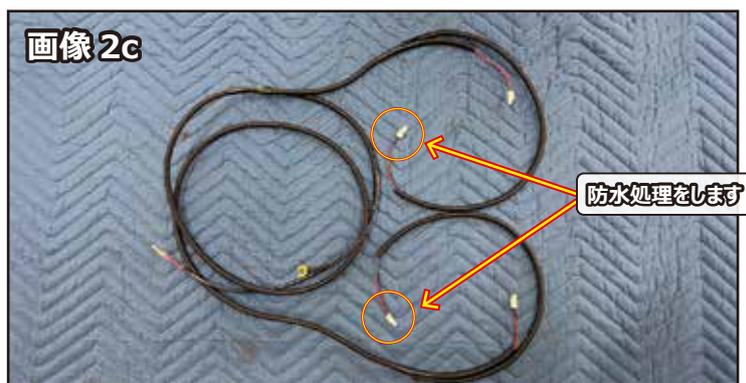
画像 2a



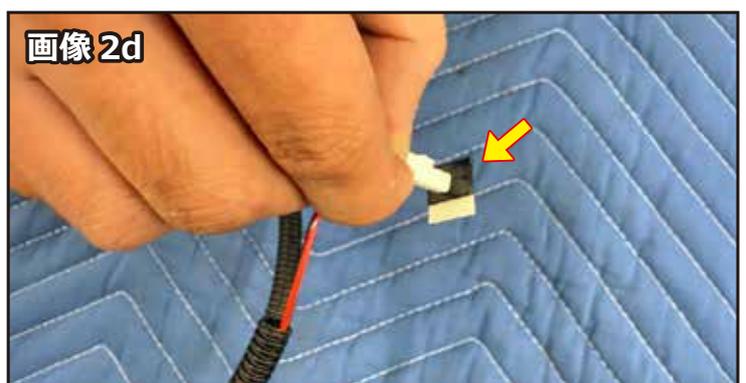
画像 2b



画像 2c



画像 2d



画像 2e



②-2 ハーネスの加工 (アイブロウのみ取付ける場合)

中間ハーネスは、他の部品と共用となっています。
アイブロウのみ取付ける際は、
使用しないコネクタにプチルテープを貼付け、
ビニールテープで処理します。

※他の部品を同時装着する場合この作業は不要です。
3 の灯体本体の取付けに進んで下さい。

画像 2c、中間ハーネスの 2 分岐コネクタのうち、
長い方のコネクタ 2 個を防水処理します。

画像 2d を参照して、
コネクタ端面に 1/4 にカットしたプチルテープを貼付けます。

画像 2e、テープの端部をコネクタ側面に巻き付けて下さい。
巻き付け終わったら、
プチルテープ部にビニールテープを巻いて保護して下さい。

注記

コネクタの端子面にはプチルテープを圧着しないようにして下さい。
プチルテープが端子内に入り込み、除去しづらくなります。
プチルテープはコネクタ勘合爪にかからないように巻きつけて下さい。
本ハーネスに後から別部品を追加する場合は、
プチルテープを完全に除去してからコネクタ接続して下さい。
プチルテープが残っていると接触不良の原因になります。

灯体本体の取付け

③-1 スパーサーの取付け

画像 3a の黄色斜線部分を、
付属の PAC クリーナーやパーツクリーナー等で
清掃、脱脂して下さい。

左右のスパーサーを貼付ける位置・形状を確認し、
スパーサー裏面の剥離紙を剥がし、貼付けて下さい。
貼付け後は軽く圧着して下さい。

反対側のスパーサーも同様に取付けて下さい。

注記

スパーサーは右用（運転席側）・左用（助手席側）が
あります。間違えないように十分確認を行って下さい

画像 3a



画像 3b



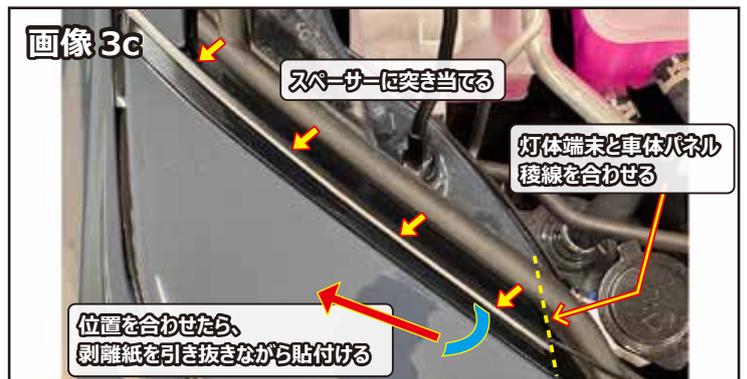
③-2 灯体本体の貼付け

灯体本体ハーネス側の剥離紙末端をめくり、
灯体末端を車体パネルの稜線に合わせ、
灯体全体をスパーサーに突き当てるように仮固定して下さい。
位置が決まったら、剥離紙を引き抜きながら貼付けて下さい。
貼付け終わったら、軽く圧着して下さい。

注記

灯体本体を強く押ししたり曲げたりしないで下さい。
故障の原因になります。
貼付け後約 24 時間は、洗車等、
水がかからないようにして下さい。

画像 3c



灯体本体の取付け

③-3 フラットケーブルの貼付け

灯体本体から出ているフラットケーブルを車体に貼付けます。

灯体本体から出ている
フラットケーブルの貼付け位置を確認して下さい。

貼付けるパネル面を付属の PAC クリーナーやパーツクリーナー等で
脱脂・清掃して下さい。

灯体本体から出ているフラットケーブル裏面の剥離紙を
50mm 程度剥がし、
図の部分のウェザーストリップをめくってパネル面に貼付けて下さい。
貼付け終わったら、軽く圧着して下さい。

画像 3f を参照し、
フラットケーブル折り返し後の貼付け位置を確認し、
貼付け面を 付属の PAC クリーナーやパーツクリーナー等で
脱脂・清掃して下さい。
(画像 3f は車両部品を外して裏面から見ている状態)

画像 3f **A** ~ **C** を参照し、フラットケーブルを貼付けて下さい。

注記

フラットケーブルを強く引っ張ったり、
折り曲げないで下さい。断線の原因になります。
貼付け後約 24 時間は、洗車等、
水がかからないようにして下さい。

反対側の灯体本体も同様に取り付けて下さい。

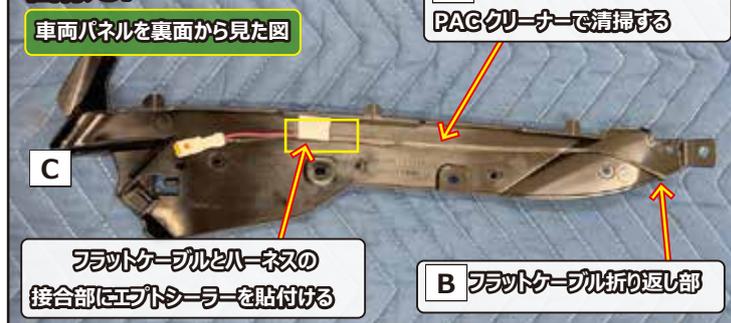
画像 3d



画像 3e



画像 3f



ハーネス配策①

④-1 ハーネス配策全体

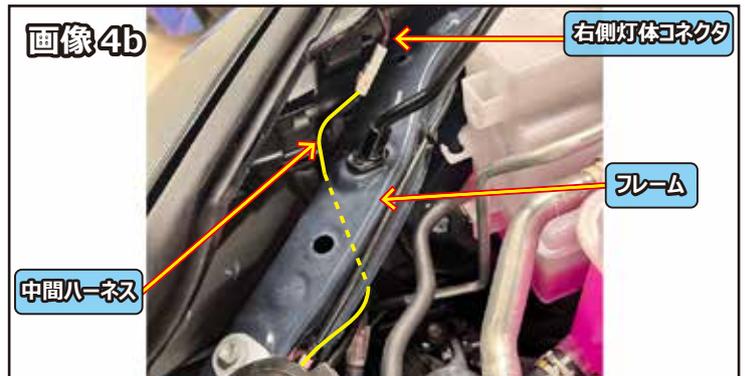
中間ハーネスの配策は図のようになります。



④-2 運転席側灯体コネクタ結線

運転席側灯体コネクタと中間ハーネスを結線します。
中間ハーネスをウォッシャー注入口とフレームの間を通し、
必ずフレームの下から灯体コネクタに接続して下さい。

結線後、コネクタにエプトシーラーを巻き付けて下さい。



コネクタ直後のハーネスを画像 4d・4e のように
エプトシーラーでヘッドランプに貼付け固定して下さい。



注記

ハーネスの裸線がフレームのエッジに
干渉しないことを確認して下さい。

ハーネス配策①

④-3 助手席側灯体コネクタ結線

中間ハーネスをエアインテークの下を通し、助手席側まで配策して下さい。

助手席側灯体コネクタと中間ハーネスを接続して下さい。この際、中間ハーネスは必ず車両フレームの下を通し、フレーム前側で結線して下さい。

結線後、コネクタにエプトシーラーを巻き付けて下さい。

コネクタ直後のハーネスを画像 4i・4j のようにエプトシーラーでヘッドランプに貼付け固定して下さい。

注記

ハーネスの裸線がフレームのエッジに干渉しないことを確認して下さい。

画像 4f



画像 4g



画像 4h



画像 4i



画像 4j



ハーネス配策①

④-4 アース線取付け

車両アース線固定ボルトのキャップを取外し、
画像 4k のように中間ハーネスのクワガタ端子を取り付けて下さい。
取付けが終わったら、キャップを元に戻して下さい。



ハーネス配策②

⑤-1 電源ハーネス取付け

ヒューズボックス内のウォッシャー用ヒューズ（20Aヒューズ）を取外して下さい。

注記

ヒューズボックスカバーの裏面にある図（画像 5b）も参照しながら作業して下さい。
誤ったヒューズを取り外すと、車両故障の原因になります。

取外したウォッシャーヒューズを付属の電源ハーネスヒューズホルダーの空き部分へ、画像 5c を参考に差し込みます。

上段：付属ヒューズ（2A、グレー色）

下段：取外したウォッシャーヒューズ（20A、黄色）

注記

ヒューズ位置を間違えると車両故障の原因になります。
よく確認して取付けて下さい。

取外したウォッシャーヒューズのホルダーに、電源ハーネスを画像 5d の向きになるよう取り付けて下さい。

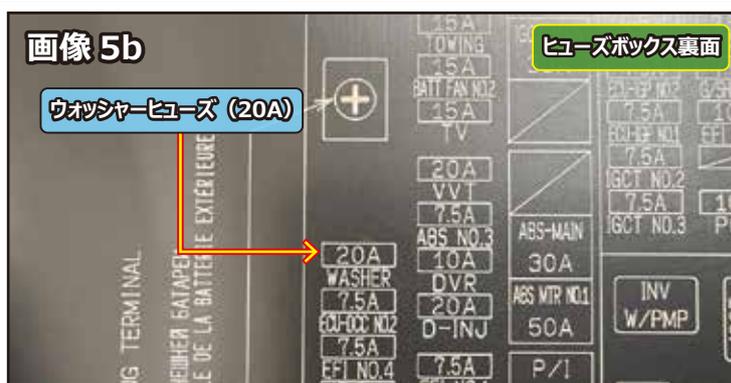
注記

電源ヒューズの取付け位置、向きを間違えると
車両故障の原因になります。よく確認して取付けて下さい。

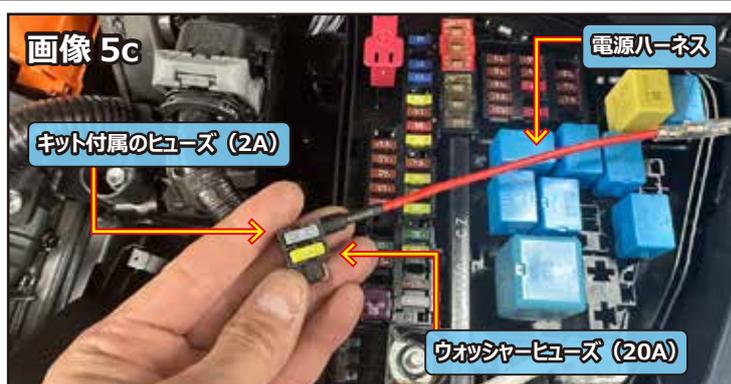
画像 5a



画像 5b



画像 5c



画像 5d



ハーネス配策②

⑤-2 電源取出し部

中間ハーネスのギボシ端子から約 150mm の部位に、
プチルテープを巻き付けて下さい。
ギボシ端子を、②-1 で穴あけしたヒューズボックスカバーに通し、
巻き付けたプチルテープでシールします。

画像 5e



画像 5f



⑤-3 中間ハーネスと電源ハーネスの結線

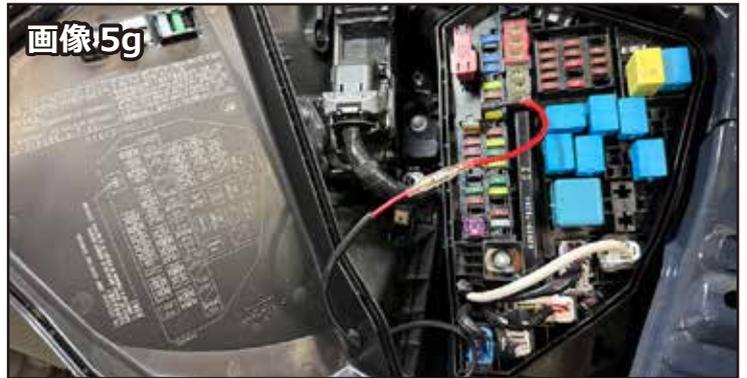
中間ハーネスのギボシ端子と、
電源ハーネスのギボシ端子を結線します。

注記

ギボシ端子の保護スリーブが確実に勘合していることを
確認して下さい。ショート等の原因になります。

ハーネスを噛みこまないよう注意しながら、
ヒューズボックスカバーをもとに戻して下さい。

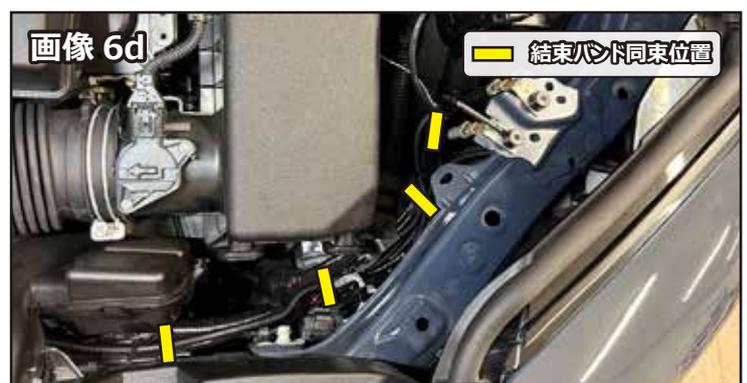
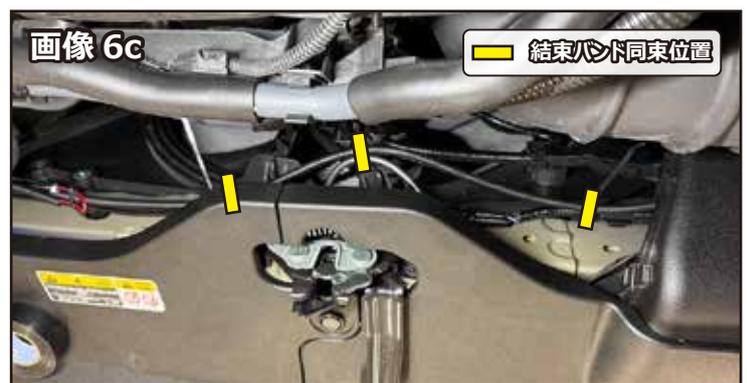
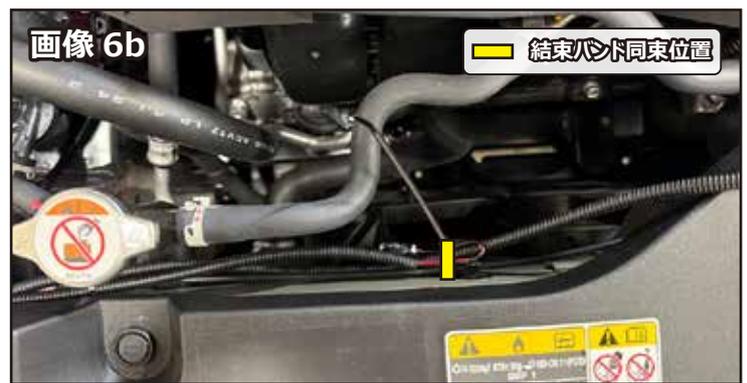
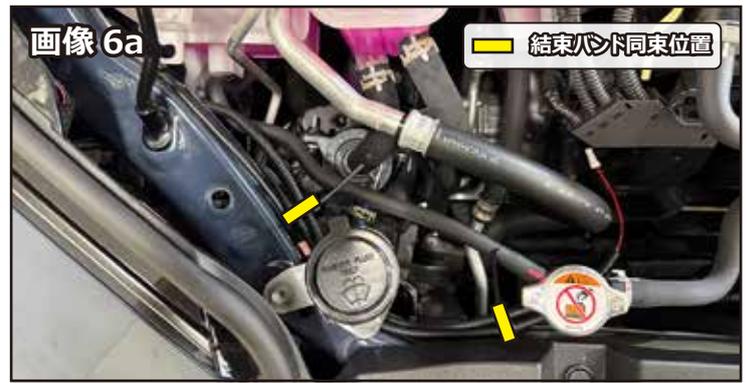
画像 5g



ハーネス配策③

⑥-1 電源ハーネス取付け

中間ハーネスを車両ハーネスに付属の結束バンドで同束します。
アイブロウのみ取付ける際は、
使用しないハーネス（コネクタにブチルテープを貼付けたハーネス）を
折り返して同束します。



動作チェック・車両復元

⑦-1 点灯確認と車両の復元

イグニッションスイッチを ON にして、
灯体が点灯することを確認して下さい。
取外した部品をすべて復元します。
車両のランプ類、ワイパー、ウォッシャーが
すべて正常に作動することを確認し、作業は終了です。

画像 11

